

平成19年度

上京区運営方針



平成19年4月

京都市上京区役所



上京区のシンボルマーク

総論編

1 区運営方針の目的

上京区では、区のまちづくりの将来像を掲げた上京区基本計画(平成13年1月策定)に基づき、区の個性を活かした魅力あふれるまちづくりを推進しており、特に重点的に取り組むべき事項を明確にし、区民の皆様と共にこの計画をしっかりと推進するため、ここに平成19年度上京区運営方針を策定しました。

2 区運営方針の基本的考え方

上京区は、平安京以来の長い歴史の中で醸成された伝統と文化の薫り高いまちであり、質の高い市民文化が息づいています。また、西陣に代表される産業と暮らしの結びついた「職住共存」のまちでもあります。更に明治以来、学区単位の自治が発達し、現在も学区ごとに住民福祉協議会などが中心となって、それぞれ個性的な自治活動が展開されています。このような歴史と伝統を踏まえ、更なる発展を目指した歩みを進めてまいります。

平成19年度は、平成18年度上京区運営方針に掲げた6つの重点課題の進捗を踏まえ、次のとおり重点課題を抽出し、取組を進めてまいります。

上京区基本計画～「暮らしが息づき伝統と文化の薫るまち」～
3つの柱 『成熟した市民文化の息づくまちづくり』
『にぎわい産業のまちづくり』
『自治と福祉のまちづくり』



3 平成19年度上京区重点課題と政策推進方針 詳細は各論で

重点課題	政策推進方針	所管
区民自治の拠点となる区役所づくり	建設計画の具体化に向けた取組推進	区民部
地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり	横断的で総合的なネットワーク形成	区民部 福祉部 保健部
地域ぐるみの子育て支援の推進	子育てネットワーク推進,上京の子どもまつり実施	福祉部 保健部
高齢者が元気に暮らせるまちづくり	地域の各種団体との連携強化,関係機関ネットワークづくり	福祉部 保健部
環境にやさしいまちづくり	ごみ減量化に向けた啓発,区役所内ごみ分別の推進	区民部
「歴史」「文化資源」の紹介,身近にふれる機会づくり	上京区文化振興会・上京歴史探訪館取組支援等	区民部

これら重点課題の実現には、区民や大学とのパートナーシップにより協働のまちづくりを進め、互いの役割と立場を認識しながら、有機的に取組を進めていく必要があります。また、厳しい市の財政事情を踏まえた事業の見直し・再構築の必要性などを数箇年計画で検討していく必要があります。

4 区役所の役割と目指すべき姿

区民にとって最も身近な総合行政機関としての役割を果たし、地域のまちづくり拠点としての機能を発揮するとともに、区民ニーズを的確に把握し、窓口対応の充実を図るなど、区民から信頼される区民の目線に立った良質なサービスの提供に取り組みます。

5 区基本計画・重点課題の推進体制

- (1) 各部の構成及び役割～各部の役割・目標の明確化、各部の連携強化～
- (2) 区民や関係機関との連携～目指すべき区民や関係機関との連携のあり方～
- (3) 進捗状況の把握、検証

区役所経営会議において、随時、進捗状況の把握、検証を行うほか、半年に一度、「人づくり ものづくり ふれあい上京21推進会議」や「上京区行政推進会議」において検証を行います。

6 その他（参考資料）

区の主な事業に関する年間計画

区に関する主な施策・事業（平成19年度京都市予算から）

区基本計画の推進体制



区長からのメッセージ

まちづくりの主役は区民の皆様です。

赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる
安全なまちを共に築きましょう。

上京区の歴史と伝統を活かしたにぎわいと活
力のあるまちを共に築きましょう。

各 論 編

1 平成19年度上京区重点課題と政策推進方針

(1) 区民自治の拠点となる区役所づくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (区民部)

重点課題

現在、区役所のうち、保健部(保健所)だけが別庁舎となっており、市民の利便性向上(ワンストップサービス化)と行政の効率性確保が求められています。特に高齢者が多い上京区では、高齢者や障害者などの人達に利用しやすい施設として整備することが急務となっています。

また、災害時には災害対策本部を設置する庁舎であるにも関わらず、現庁舎は狭隘なうえ老朽化が著しく、また、現行法令による耐震基準を満たしておらず、早急に庁舎整備を行う必要があります。

平成18年度の実績

現庁舎敷地での建替えを基本とする方針を明確にし、周辺敷地の先行取得について、土地開発公社に依頼しました。

政策推進方針

上京区政130周年を迎えます平成21年までには、「暮らしが息づき伝統と文化の薫るまち」のシンボルとして、各種行政サービスはもとより、交流機能など区民の自治の拠点ともなる上京区総合庁舎の建設に向けた基本計画を具体化できるよう取組を進めてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 建設に向けた基本計画の具体化のための周辺敷地の確保



(2) 地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (区民部, 福祉部, 保健部)

重点課題

地域における日々の暮らしに関わる問題が増加・深刻化しており、日常生活における安心・安全の確保は、区役所や警察署、消防署などの行政機関の取組だけで果たせるものではありません。市民ひとりひとりの主体的な意識・行動はもとより、地域住民が互いに力を合わせることによる地域の自主的な取組がなければ、実現し難いものになってきています。

近年の少子化や高齢化、核家族化といった急激な社会情勢の変化のなか、地域の住民同士の結びつきを一層強め、活性化していくことが大きな課題になっています。

平成18年度の実績

地域の特色を活かし、地域住民と区役所、学校、警察署、消防署などの関係機関が連携を取り合い、防災、防犯、福祉、健康、子どもの安全などに関する多様な取組を展開する「地域の安心安全ネット



ワーク形成事業」が新町小学校区(小川・中立・滋野学区)と待賢学区, 桃園学区及び仁和学区で推進されました。社会的弱者である子どもや高齢者を守る取組を通じて地域コミュニティ活動の更なる活性化などが図られました。

また, 福祉に関する安心・安全情報の共有化を目指し, 上京区社会福祉協議会と共に福祉総合マップを作成する取組が進められました。

保健部では, 感染症や食中毒発生などの健康危機管理に取り組みました。

政策推進方針

これまでの成果や「安心・安全情報の共有化」などの残された課題を踏まえ, 「地域の安心安全ネットワーク形成事業」の上京区内全学区への拡大を目指し, 取組を推進してまいります。

福祉の分野では, 平成18年度に作成された福祉総合マップの充実を図る取組を進めてまいります。

保健の分野では, 健診や健康教室の充実化, 食の安心・安全の確保等の取組, 感染症や食中毒などについての普及啓発, 発生時対応を進めてまいります。

< 主な具体的取組案 >

- ・ 「地域の安心安全ネットワーク形成事業」: 元学区単位での取組を支援
- ・ 福祉総合マップの充実

(3) 地域ぐるみの子育て支援の推進 < 柱 自治と福祉のまちづくり > (福祉部, 保健部)

重点課題

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つために, 地域ぐるみで子育て支援を推進する仕組みをつくることが求められています。区としての子育て支援に関わるネットワークを活かし, 子育てに関わる各種団体や行政機関が有機的に連携する地域の子育て支援システムを充実させる必要があります。

平成18年度の実績

子ども支援センターだより「ぱたぼん」を隔月発行するなど, 子育て支援情報の収集・共有・発信に努めました。また, 「上京の子どもまつり2006」の実施を通じて, 多世代にわたる地域における子どもの成育環境づくりと地域のふれあい, 情報交換の提供を進め, 上京区における歴史と伝統の継承・紹介を行いました。

更に, 子育て支援に関する種々の情報を収集・共有・発信するとともに, 子どもとその家庭が抱える問題解決に資するため, 平成17年に設置した「上京子育て支援連絡会」の今後の取組の方向性を確認しました。

保健部では妊娠中から始まる母子保健事業を通して, 健康相談, 健康診査, 訪問活動などを行い, 子どもたちの健やかな育ちと共に, 育児不安や育児困難な保護者・家庭について関係機関と連携をとりながら支援しています。地域における子育て支援を行うために開催した「すくすく育児サポート教室」を通じて地域での交流・仲間づくりにもつなげることができました。

政策推進方針

「上京子育て支援連絡会」につきまして, 関係団体との連携を深めるため, 実務者レベルでの研修会, 意見・情報交換会の取組を進めてまいります。



また、関係団体・関係機関により開催される「上京の子どもまつり」は、地域のふれあいと子育てに関する交流の場の提供を進め、上京区における歴史と伝統の継承・紹介することも目的に平成12年度から実施されているものであり、上京区独自の事業として積極的に取り組んでまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 「上京子育て支援連絡会」の開催
- ・ 「上京の子どもまつり」の実施



(4) 高齢者が元気に暮らせるまちづくり<柱> 自治と福祉のまちづくり> (福祉部,保健部)

重点課題

近年、急速に少子高齢化が進んでおり、高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化をしてくれています。65歳以上の人口の割合が本市で2番目に多い上京区(高齢化率24.4%、市平均20.8%、平成18年10月1日現在)では、高齢者ひとりひとりが自らの意思に基づき、住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせる地域づくりが大きな課題となっています。

平成18年度の実績

上京区地域包括支援センター運営協議会の開催により、地域包括支援センターの適正な運営、公正・中立性の確保に向けた体制づくりが図られました。また、敬老記念品お祝い訪問(88歳、100歳)を通じて、訪問を受けられた高齢者、児童・保護者・先生や民生児童委員の皆様が共生社会の一員である喜びを噛み締められました。

一方、介護予防に関する取組として、保健所内や地域における筋力トレーニング教室のほか、講座や健康教室、相談などを通じて、介護予防の普及・啓発や実践、また地域での交流・仲間づくりも図られました。

政策推進方針

福祉分野では、介護保険の制度の活用、上京区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動への支援、地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携を進めてまいります。

保健分野では、高齢期における健康保持のために、壮年期からの健康づくり、生活習慣病予防を進めるほか、介護が必要状態になることを予防するための介護予防事業に取り組んでまいります。



高齢者の保健福祉を推進するためには、地域の各種団体(民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、保健協議会連合会、医師会等)との連携を強化し、関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、住民の主体的参加を促し、地域への普及啓発を進めてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 関係機関のネットワークづくり
- ・ 介護予防事業(筋力トレーニング教室、講座、健康教室等)

(5) 環境にやさしいまちづくり <柱 自治と福祉のまちづくり> (区民部)

重点課題

本市は、COP3開催都市、「京都議定書」の採択地でもあり、あらゆる分野で環境を基軸とした政策を展開することを掲げ、環境に優しい事業活動の推進に取り組んでおります。

区基本計画においても、「クリーンでグリーン豊かなまちづくり」として、区民ぐるみで環境保全を大切に考え、行動するまちを目指し、ごみの減量化など日常生活の視点からの環境保全の取組や身近な緑化や公園の整備等を通じて、緑豊かな美しいまちづくりを進めることとしております。

平成18年度の実績

環境月間などに関する市民しんぶん上京区版や上京区ホームページへの啓発記事の掲載することにより、区民の意識向上に資しました。また、区役所内においては、資源ごみの分別を更に推進しました(缶、びん、ペットボトル スチール缶、アルミ缶、びん、ペットボトル)。

政策推進方針

現在、本市では、循環型社会の実現に向けてリターナブルびん(生きびん)等の拠点回収やコミュニティ回収制度、プラスチック製容器包装の分別収集のほか、使用済みてんぷら油の回収などの取組が進められており、区内におきましてもこれらの取組が積極的に進められています。今年度は、更なる循環型社会の推進に向け、市民しんぶん上京区版への関連記事の掲載など、様々な機会を通じてより効果的な普及・啓発に努めてまいります。

また、平成17年9月にISO14001認証取得した区役所における環境に配慮した取組を更に積極的に推進し、環境にやさしい区役所づくりに努めてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 市民しんぶん上京区版、上京区ホームページへの啓発記事の掲載
- ・ 区役所内における資源ごみ分別の推進(プラスチックの分別など)



(6) 「歴史」「文化資源」の紹介、身近にふれる機会づくり

<柱 成熟した市民文化の息づくまちづくり、にぎわい産業のまちづくり> (区民部)

重点課題

上京区は、平安京以来1200年の長い歴史を有し、政治の舞台として、また、茶道をはじめとする文化・芸術、西陣織に代表される商工業のまちとしても栄えてきました。

しかし、観光寺院や名所も少なく、観光客も決して多くありません。京都を訪れる観光客は、歴史愛好家やリピーターが比較的多く、上京区はこれらの方々を引き付ける潜在的な魅力を有しています。

区民自らが、これら魅力に身近に触れ、そして継承していくとともに、豊かな歴史・文化資源に係



る情報を広く全国に発信し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちづくりの推進が求められています。

平成18年度の実績

上京区文化振興会と協同し、区民にとって恒例行事となった上京茶会や上京新能などの実施により、身近に伝統文化や芸能に触れる機会を提供してまいりました。また、区内の史蹟や文化資源を紹介する冊子「上京・史蹟と文化」を2回発行し、区内全世帯に配布しました。

築100年近くの町家を活用し、上京ならではの歴史や文化情報を収集・発信する「上京歴史探訪館」を区民、大学、行政の協働の下、春季及び秋季に開館し、全国から2,000名を超える来館者を迎え、京都・上京の魅力を感じていただきました。また、散策マップ「西陣を歩く」を発行しました。

政策推進方針

年間の恒例行事として親しまれている取組などを通じて、上京区の有する「歴史」「文化資源」にこれまで以上により多くの区民が身近に触れ、その魅力を享受し、また、広く全国に発信していく取組を進めてまいります。

更に、これまであまり知られていなかった魅力を掘り起こし、地域の皆さんで共有していく取組を推進してまいります。



<主な具体的取組案>

- ・ 上京茶会（年2回）、上京新能(9月)などの実施、冊子「上京・史蹟と文化」(vol.33・34)発行
- ・ 上京歴史探訪館(3月～5月、7月～11月に開館)の運営支援、関連イベントの実施
- ・ 源氏物語千年紀事業「京都創生の地(平安宮)・源氏物語の世界をみんなで再発見」<新規>

(～平成20年度)

(区役所所管外事業：区政策提案施策・事業)

- ・ 源氏物語千年紀事業「源氏物語ゆかりの地の説明板設置」
- ・ 観光案内標識充実整備、観光案内標識の国際化整備事業
- ・ 観光ボランティア推進事業

2 区役所の役割と目指すべき姿

(1) 区役所の役割

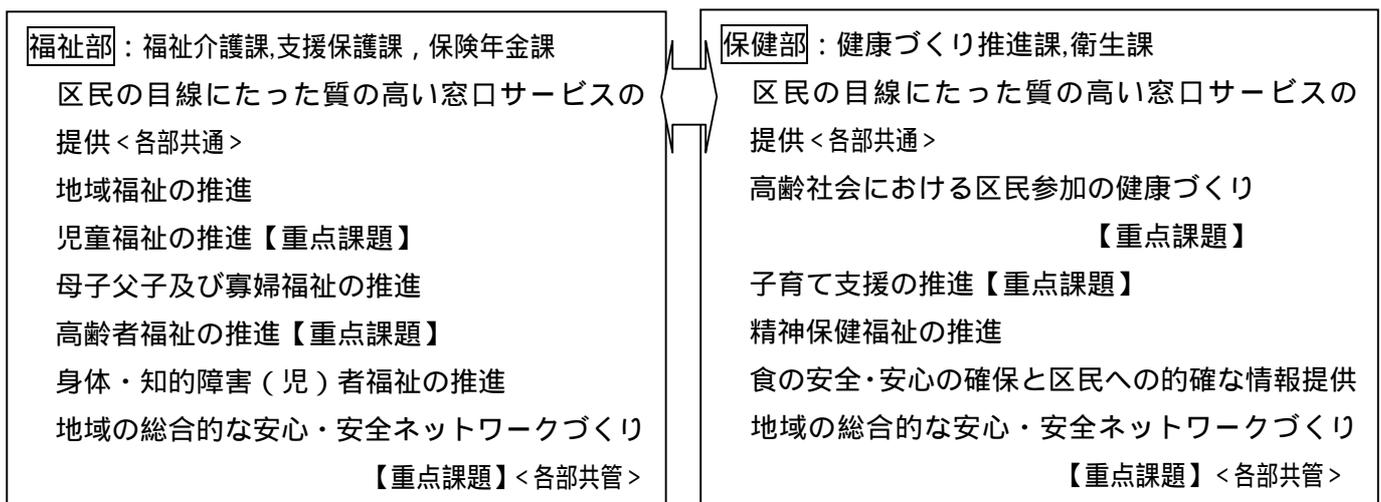
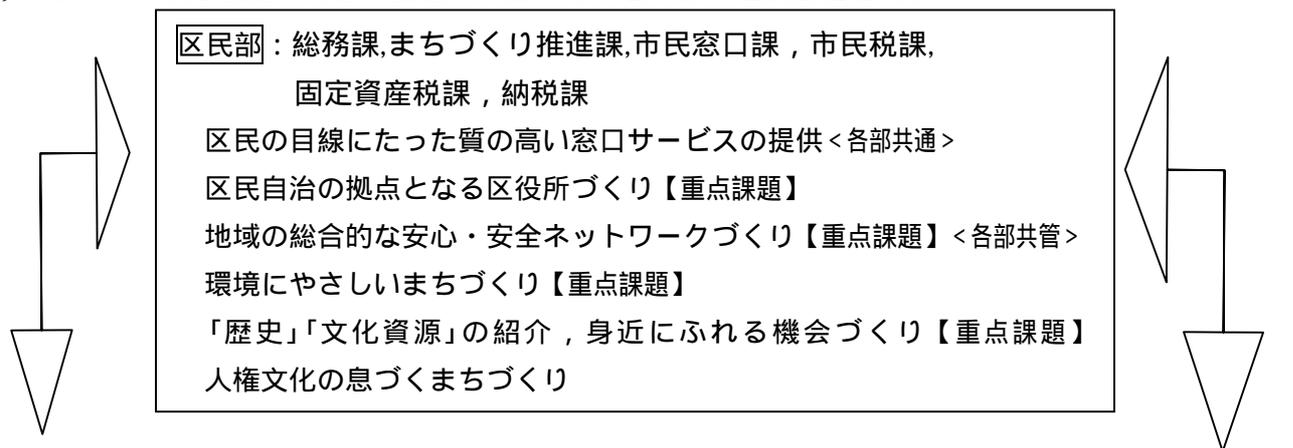
- ア 住民登録・戸籍事務や国民健康保険，市税に関する事務など区民生活に欠かすことができない業務を適正・公平かつ効率的に執行すること
- イ 地域のまちづくり活動支援や，福祉・保健，子育てに関する支援など区の特性に応じた身近な行政サービスを提供すること
- ウ 地域との協働，関係行政機関や本庁各局と連携し，区の個性を活かした魅力あるまちづくりを推進すること

(2) 区役所を目指すべき姿

- ア 区民の目線にたったサービスの改革(印象の良い，分かりやすい窓口対応の充実等)
- イ 区民の声を区政・市政の意思形成過程に反映させるための仕組みづくり
- ウ 区基本計画の推進に向けた取組
- エ 区行政の総合性向上のための組織運営方法の改革

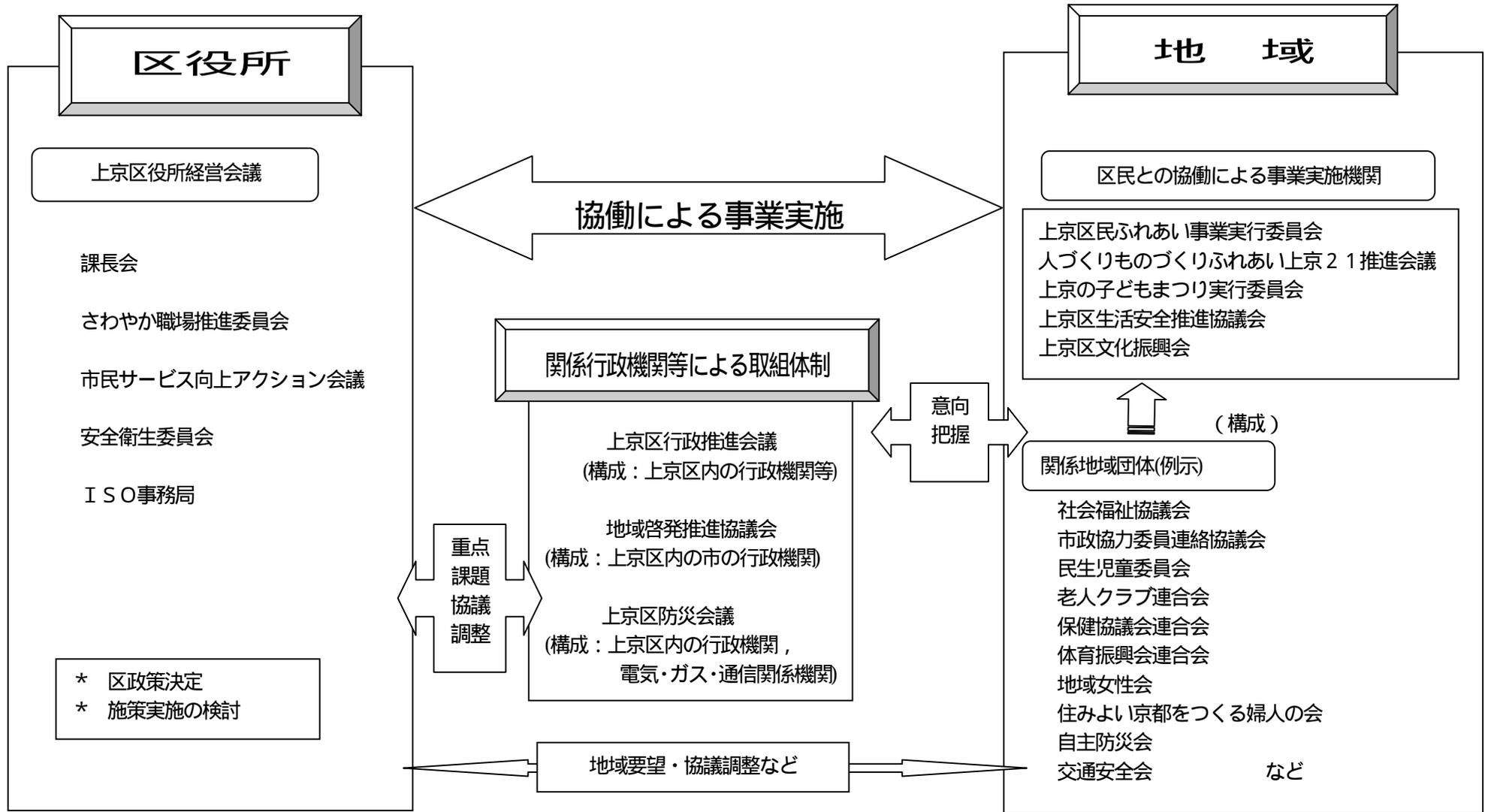
3 区基本計画・重点課題の推進体制

(1) 各部の構成及び役割～各部の役割・目標の明確化,各部の連携強化を図る～



(2) 区民や関係機関との連携～目指すべき区民や関係機関との連携のあり方～

区運営方針の推進には，区役所内における体制を確立するとともに，区民や関係機関との連携を欠かすことはできません。区民のニーズを的確に把握し，目指すべき姿を共有し，様々な取組を進めていく必要があります。その模式図は別図のとおりです。



参考資料編

1 区の主な事業に関する年間計画（予定）

シーズン	事業名
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">春</div> <div style="text-align: center;">夏</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">秋</div> <div style="text-align: center;">冬</div> </div> </div>	憲法月間事業
	講座「西陣の魅力へようこそ」
	上京茶会
	上京薪能
	区総合防災訓練
	連続講座「源氏物語の世界を知る」
	ふれあいまつり
	ふれあい文化大学
	歩きたくなるまち上京「歴史散歩」
	上京の子どもまつり
	ふれあい史蹟ウォーキング
	上京こころのふれあいネットワーク
	人権月間事業

注）この年間計画は、昨年度の実績等を踏まえて記載されたものであり、中止・変更されることがあります。

2 区に関する主な施策・事業（平成19年度京都市予算から）

源氏物語千年紀事業

- ・ 京都創生の地(平安宮)・源氏物語の世界をみんなで再発見
区内の南西部は、平安時代、政治文化経済の中心であり、また、源氏物語の宮中物語の舞台もこの地域にありました。今年秋には源氏物語に関する連続講座、来年度は平安宮リレー講習会等を通じて、地域に関する魅力を再発見していただきます。＜上京区役所総務課＞
- ・ 源氏物語ゆかりの地の説明板の設置
市内には、平安宮のあった上京区を中心に、源氏物語ゆかりの地が数多くあります。その地は、埋蔵文化財発掘調査等により位置が明らかになっているものの、一部を除き案内標識等もなく、地元の人々にも知られていないことから、説明板を設置し、市民のみならず全国の方々に周知していきます。
＜文化市民局文化財保護課＞

区内の主な施設整備

- ・ 堀川水辺環境整備事業
平成12年度からワークショップによる整備構想を策定するなど進めてきた本事業は、今年度、開渠部である今出川通以南の工事に着手します。来年度には清流が復活し、平成22年度の事業完成を目指します。＜建設局河川課＞

区政策提案施策・事業

- ・ 源氏物語千年紀事業「源氏物語ゆかりの地の説明板の設置」(再掲)
- ・ 観光案内標識充実整備、観光案内標識の国際化整備事業
- ・ 観光ボランティア推進事業

3 上京区基本計画推進体制

人づくり ものづくり ふれあい上京21

～上京区基本計画の推進を図るための方策等を決定する中心組織（平成14年8月設立）～

- | | | |
|------|-------------------------|--------------------------------|
| 委員長 | 柿野欽吾(京都産業大学経済学部教授) | 成瀬日出夫(上京区民代表) |
| 副委員長 | 臈谷壽(同志社女子大学教授) | 太田保夫(上京区民代表) |
| 委員 | 浅野啓子(上京区民代表) | 奥野邦子(上京区民代表) |
| | 豊田武夫(上京東部医師会会長) | 加藤アイ(上京区民代表) |
| | 臼井健雄(西陣医師会会長) | 高橋康夫(京都大学大学院教授) |
| | 喜多泰弘(西陣千本商店街振興組合理事長) | 廣瀬賢治(上京区民代表) |
| | 礪波修(西陣織工業組合副理事長) | 山田行圓(茶道裏千家秘書次長) |
| | 藤原信生(上京区民代表) | 巨重好(上京区民代表) |
| (顧問) | 余根田保(京都市福祉ボランティアセンター所長) | 城戸信一(上京区保健協議会連合会会長) |
| | 出雲路敬直(京都国学院講師) | 村井康彦(京都市美術館館長, 上京区基本計画策定懇談会座長) |
| | 高瀬博章(上京区自主防災会協議会会長) | |
- (敬称略)

「人づくり ものづくり ふれあい上京21」で提言された具体策を検討

ふれあい上京21部会

具体化検討する主な構想
『自治と福祉のまちづくり』

- | | |
|------|-------------|
| 部会長 | 成瀬日出夫(乾隆学区) |
| 副部会長 | 廣瀬賢治(室町学区) |
| | 巨重好(京極学区) |
| 委員 | 川田雄司(成逸学区) |
| | 高橋孝三(西陣学区) |
| | 松本勝美(翔鸞学区) |
| | 浅野啓子(嘉楽学区) |
| | 布下善一(桃園学区) |
| | 藤田美雄(小川学区) |
| | 垣貫敏彦(仁和学区) |
| | 太田保夫(正親学区) |
| | 古井明之(聚楽学区) |
| | 藤原信生(中立学区) |
| | 加藤アイ(出学区) |
| | 岡本勝行(待賢学区) |
| | 立入嘉啓(滋野学区) |
| | 小谷進一(春日学区) |

(敬称略)

印は推進会議委員

平成15年7月設置, 17年7月改組

しみん文化部会

具体化検討する主な構想
『成熟した市民文化の息づくまちづくり』
『にぎわい産業のまちづくり』

- | | |
|------|----------------------------------|
| 部会長 | 臈谷壽(同志社女子大学教授) |
| 副部会長 | 出雲路敬直(京都国学院講師) |
| | 北村廣子(ボランティアひまわり代表) |
| 委員 | 鋤柄俊夫(同志社大学助教授) |
| | 高橋孝三(財)西陣織物館元専務理事) |
| | 高橋康夫(京都大学大学院教授) |
| | 成瀬日出夫(人づくりものづくりふれ
あい上京21副委員長) |
| | 山中恵美子(京・町家文化館副館主) |

(敬称略)

印は推進会議委員

平成17年7月設置



地元情報の収集や
イベント開催等の
際に連携し, 取組
を推進する。

平成19年度上京区運営方針についての区民の皆さまから
のご意見・ご提案をお待ちしております。

上京区役所区民部総務課

電 話 075 - 441 - 5029

FAX 075 - 432 - 0566

平成19年4月発行